学級活動指導案

東広島市立吉川小学校

指導者 天野真由美

1 学 年 第6学年 14名

2 日 時 平成22年7月7日（水） 第3校時

3 議題名 「スリッパそろえ大作戦 リターンズ

全校児童がスリッパを気持ちよくそろえられるような活動を話し合おう」

4 児童の実態と議題選定の理由

○児童の実態

昨年度行った集会活動のための話し合いでは、楽しい活動にしたいという意欲はあるものの、一部の児童の意見で計画の立案が進んだり、児童から出た意見を安易に多数決で決定したりして児童全員の意見が生かされた活動になっていない状況が見られた。また、話し合った後の集会活動では、計画の流れに沿って楽しく活動していた児童が多かった一方で、自分の役割を自信をもって果たすことができず、他の児童がいつのまにかその児童の役割を担っていたという実態も見られた。

4月に、学級目標を決める学級活動を行い、「意見の理由を発表する、分からない所を質問する、友だちの意見を聞いて自分の意見を変えたり、合わせたりして話をまとめる」など話し合いについての方法を学習している。しかし、事前に話し合いの柱等について決定しておくなど計画立案の活動経験は少なく、そのための委員会も実働していない。

5年生の時には、全校取組重点目標である「はきものをそろえる」について、高学年が中心となって全校児童にトイレのスリッパをそろえることを呼びかけ、その点検した結果について放送したり、結果を可視化したりしたという一連の活動を展開した。児童は、役割を分担し最後までやり遂げたという達成感を味わっている。しかし、この体験を振り返り、互いのよさを認め合う活動をしていなかったため役割遂行の意欲が持続せず、継続された取組になっていない。

5月に調査したQ-Uの結果を見てみると、学級生活満足群に属する児童が14名中12名いるものの、学級生活不満足群に属する児童が14名中2名いることから、クラスの児童全員にとって所属する集団が望ましいものとなっていないことが分かった。

○議題選定の理由

議題カードの記述を見てみると、「はきものをそろえる」ことが最近できていないと児童自身が気付いていることが分かった。

そこで、児童の経験を生かし、本議題に関する活動の見通しをもてていることから、計画委員会の運営や、自分やみんなのよさを生かして集団決定する話し合い、役割や責任を果たす活動、互いのよさを認め合う活動等を体験することができるようにする。こうした自主的に活動を展開する方法等を学びながら、一部の児童の発案が学級の総意となって活動し、課題が達成できみんな喜び合える体験が、話し合いの意義を理解させることになると思う。さらに、自分は所属する集団の中で大切な存在であることを認識し、自分を肯定的に受け止めることができると考える。

5 事前の活動

活動過程	計画委員会の児童の活動（・）と計画委員会の役割分担（○）	教師の指導（・）と指導上の留意点（○）
問題に気付く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題提出を学級全員に呼びかける。 ・ 議題提案カードを集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動全体の見通しがもてるように、計画委員会の仕事の流れと学級全員が活動する手順を示しておく。 ○ 議題内容としてふさわしいものについて、視点を掲示しておき、児童全員が課題意識をもつようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ふさわしい議題内容 1 学級がもっとよくなること 2 学級がもっと楽しくなること 3 みんなにお願いしたいこと 4 みんなが困っていること 5 系の活動のこと ○ 議題提案カードを用意しておき、いつでも話し合いたいことを記入できるようにしておく。
議題を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題提案カードの中から「議題選定のものさし」を使って議題を選ぶ。 ・ その他の議題について、「いつ」「どうする」のかを決定して、返信を書く。 ・ 帰りの会において学級全員でチェックリストを使いながら話し合っ議題を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議題を選定するときの判断基準となる「議題選定のものさし」を活用するように助言する。 ○ 「議題選定のものさし」1については、一人一人を想起して考えるように助言する。 <ul style="list-style-type: none"> 議題選定のものさし 1 だれかがつらい思いをするようなこと 2 安全にかかわること 3 お金にかかわること 4 学校の決まり、時間割にかかわること 5 学校の施設や設備にかかわること ○ 議題提案者全員の意見を大切にするという視点から、議題提案カードの返信欄を活用し、決定事項について返信する。 <ul style="list-style-type: none"> 議題提案カード返信欄 1 ○月○日の学級会で話し合います。 2 ○○かかりに伝えます。 3 朝の会、帰りの会で発表してください。 4 先生にお願いしました。 5 その他 ○ 議題決定のチェックリストを活用して学級全員が議題の決定にかかわるようにして、話し合いの必要感をもたせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 議題のチェックリスト 1 学級や学校生活をよくする議題か 2 全員が話し合いに参加できる議題か 3 自分たちで解決できる議題か 4 今、話し合う必要があるものか 5 決まったことが実行できそうか 6 工夫ができそうな議題か ○ 計画委員には、児童が全員で決定するために、チェックリストを一つずつ読み上げて確認する方法があることを助言したり、話型を記したマニュアル「すいすいガイド」を用意したりしておく。

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級全員には、計画委員が全員のことを考えて選んだ議題だということを伝えて、計画委員の役割意識を高めるとともに、学級全員で解決しようとする意欲を高める。
計画を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決定した議題について、話し合いの内容・順序・時間配分を決める。 ・ 学級会での役割分担を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 司会 ○ ノート書記 ○ 黒板書記 ・ 話し合いの活動計画を作成する。 ・ 学級全員へ知らせる際の役割分担をする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明 ○ 議題提案カードや話し合いメモの提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの内容の決め方を指導する。 ○ 計画委員だけでなく学級全員で話し合うための計画委員会であることを押さえることを通して学級全員へ役立つ活動であることを知らせ、計画委員会の話し合いへの意欲を高める。 ○ 議題提案カード(大)を活用して何のために何を話し合うのか明確にする。 ○ 話し合いの内容を図示したり、付箋を活用してまとめたり順番を入れ替えたりして考える方法を助言し、一緒に考える。 ○ 学級会における計画委員の役割分担の方法について、自分のよさを生かせるように、「自分が進んで活動できる」「決まった役割を最後までやり遂げる」「この役割でみんなのために活動したい」という視点で決められるように助言する。 ○ 最初は、話し合いの活動計画の項目やフォーマットを用意しておくが、活動を重ねるうちに児童の発想を取り入れて改訂していく。 ○ 議題や提案理由、話し合いの内容を決めた際のシートを提示し、決定事項だけでなく、思考の過程も学級全員で共有できるようにする。
問題を共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した学級会ノートを配付して、自分の意見を記入しておくように伝える。 ・ 話し合いの活動計画を学級会コーナーに掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級会ノートに児童が自分の意見を記入し、学級会までに各自が意見をもっておくようにする。 ○ 計画委員がみんなの意見を集約、分類して話し合い活動の最初に提示し、話し合いの視点を明らかにする。 ○ 計画委員が行った事前の活動を承認し、学級会において自主的に役割遂行しようとする意欲を引き出す。

6 本時のねらい

全校児童がスリッパをそろえる方法を話し合うことを通して、自分や友だちのよさを生かした集団決定の方法を理解し、自信をもって役割を果たそうとする意欲を高める。

7 本時の活動計画

活動過程	児童の活動(・) 予想される児童の反応(○)	教師の指導(・)、指導上の留意点(○)、計画委員への助言(◆) 評価の視点(☆)と【方法】
課題を把握する	<ol style="list-style-type: none"> 1 始めの言葉 2 計画委員会の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ○計画委員の仕事をやり返しよう。 3 議題の確認 <ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を出してスリッパを皆がそろえるような取組にしたいな。 ○学校中のスリッパがそろったら気持ちいいだろうな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画委員会の紹介をすることで、計画委員が学級会における自分たちの役割を明確に意識し、役割を果たそうとする意欲を高める。 ○ 自分たちの生活をよりよくする話し合いであることを確認する。

「スリッパそろえ大作戦リターンズ」
全校児童がスリッパを気持ちよくそろえられるような活動を話し合おう。

	<p>4 提案理由の説明</p> <p>○スリッパそろえが続かないので困っている。スリッパをそろえて気持ちのよい学校生活を送りたい。</p>	<p>○ 議題提案カード(大)と話し合いメモを掲示しておき、これまでの思考の流れを想起させる。</p>									
<p>広げる</p>	<p>5 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画委員が全員の意見を分類した一覧表を黒板に貼り、話し合いの視点を明らかにする。 <p>① 全校へ呼びかける内容、方法について話し合う。</p>	<p>○ 学級会ノートの意見を計画委員が集約、分類して一覧表にして、話し合いの前に提示し話し合いが深まるようにする。</p> <p>○ 計画委員が作成した議題提案カード(大)と話し合いメモを掲示しておき、必要に応じて参考にできるようにする。</p> <p>◆ 活動の条件「自分たちだけで活動できるか」「提案理由に沿っているか」「続けられるか」に照らしながら話し合うように計画委員に助言しておく。</p>									
<p>見つける</p>	<p><呼びかける内容></p> <table border="1" data-bbox="229 696 788 846"> <tr><td><呼びかける内容></td></tr> <tr><td>スリッパがそろっていない実態について</td></tr> <tr><td>スリッパをそろえたい6年生の願い</td></tr> <tr><td>スリッパをそろえるとおとずれるいいこと</td></tr> </table> <p><計画委員会が用意する一覧表></p> <p>② スリッパそろえが続くような工夫について話し合う。</p>	<呼びかける内容>	スリッパがそろっていない実態について	スリッパをそろえたい6年生の願い	スリッパをそろえるとおとずれるいいこと	<p>話し合い①-2</p> <table border="1" data-bbox="820 645 1442 927"> <tr><td><呼びかける方法></td></tr> <tr><td>スリッパをそろえるような合言葉を作る。</td></tr> <tr><td>スリッパをそろえようとする意欲を出すための歌を作る。</td></tr> <tr><td>スリッパそろえの5. 7. 5を作る。</td></tr> <tr><td>ポスターを作る。</td></tr> </table> <p>◆ 計画委員には司会進行の方法や活動の条件について記した司会マニュアル「すいすいガイド」を持たせ、必要に応じて活用させる。</p> <p>◆ 計画委員の児童が進行に戸惑った時には、「すいすいガイド」を活用し、</p> <ol style="list-style-type: none"> 提案理由に立ち返る。 計画委員会の児童でアドバイスし合う。 児童全員にアドバイスを求める。 <p>の方法があることに気付かせるようにする。それでも進行できない場合は、教師が学級全体に対して、状況を整理して伝え、考え方の道筋を示すことを通して、児童全員が進行の方法を理解できるようにする。</p>	<呼びかける方法>	スリッパをそろえるような合言葉を作る。	スリッパをそろえようとする意欲を出すための歌を作る。	スリッパそろえの5. 7. 5を作る。	ポスターを作る。
<呼びかける内容>											
スリッパがそろっていない実態について											
スリッパをそろえたい6年生の願い											
スリッパをそろえるとおとずれるいいこと											
<呼びかける方法>											
スリッパをそろえるような合言葉を作る。											
スリッパをそろえようとする意欲を出すための歌を作る。											
スリッパそろえの5. 7. 5を作る。											
ポスターを作る。											
<p>広げる</p>	<p><工夫点></p> <table border="1" data-bbox="229 1128 644 1518"> <tr><td><工夫点></td></tr> <tr><td>ポイントカードにスリッパそろえ得点をためていく。</td></tr> <tr><td>スリッパそろえが何日続いたか放送で発表する。</td></tr> <tr><td>5日間連続で揃えたらロング昼休憩をする。</td></tr> <tr><td>1年生にも分かるようにそろったらトイレにキャラクターを置く</td></tr> </table> <p><計画委員会が用意する一覧表></p>	<工夫点>	ポイントカードにスリッパそろえ得点をためていく。	スリッパそろえが何日続いたか放送で発表する。	5日間連続で揃えたらロング昼休憩をする。	1年生にも分かるようにそろったらトイレにキャラクターを置く	<p>◆ 否定的な発言をしたり発言を否定的にとらえたりする場合には教師が進行をストップし、提案理由や学級会のめあて、学級目標に立ち返るように助言する。</p> <p>○ 「議題選定のものさし」を提示しておき、決まりや時間割等に関する意見が出たらそれを見るように促し、自分たちだけでは解決できないことを気付かせるようにする。</p> <p>・ 学級活動の話し合いにおける集団決定の基準「自分もよくてみんなもいい」を示し、自分のよさだけでなく友だちのよさも取り入れる考え方を指導し、適宜助言していく。</p>				
<工夫点>											
ポイントカードにスリッパそろえ得点をためていく。											
スリッパそろえが何日続いたか放送で発表する。											
5日間連続で揃えたらロング昼休憩をする。											
1年生にも分かるようにそろったらトイレにキャラクターを置く											
<p>見つける</p>	<p><計画委員会が用意する一覧表></p>	<p>自分のよさだけでなく友だちのよさも取り入れる考え方の助言例</p> <table border="1" data-bbox="715 1711 1481 2011"> <tr><td>○ なぜその意見が出されたのか考えてみよう。</td></tr> <tr><td>○ 自分の意見も友だちの意見も生かすために、共通点を見つけてみよう。</td></tr> <tr><td>○ 異なる意見の中間点はどこだろう。</td></tr> <tr><td>○ 意見と意見を組み合わせると、どうなるだろう。</td></tr> <tr><td>○ もし、○○だったら賛成できるか。</td></tr> </table>	○ なぜその意見が出されたのか考えてみよう。	○ 自分の意見も友だちの意見も生かすために、共通点を見つけてみよう。	○ 異なる意見の中間点はどこだろう。	○ 意見と意見を組み合わせると、どうなるだろう。	○ もし、○○だったら賛成できるか。				
○ なぜその意見が出されたのか考えてみよう。											
○ 自分の意見も友だちの意見も生かすために、共通点を見つけてみよう。											
○ 異なる意見の中間点はどこだろう。											
○ 意見と意見を組み合わせると、どうなるだろう。											
○ もし、○○だったら賛成できるか。											

決める	<p>③ 役割分担をして、活動のための準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人を楽しませるのが好きだから、児童朝会の時にスリッパそろえマンになってみんなのやる気を高めたいな。 ○ ダンスが好きだから、やる気が出る歌作りチームに入って振り付けを担当しよう。そして朝の時間にみんなに披露しよう。 ○ 絵を描くのが得意だから、ごほうびキャラクターをつくって、一年生にも分かるように伝えるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 決まった役割について責任を果たそうとする意欲を高めるために、学級会ノートに役割と仕事内容を書く欄を設定しておく。 ○ 事例を紹介することを通して、役割を決める時の視点「自分のよさが生かせる」「進んで活動できる」「工夫できる」に気付かせるようにする。 <p>☆ 学級生活向上のための話し合い活動に進んで参加しようとしている。</p> <p>【教師の観察、学級会ノート振り返り欄】</p>
振り返る	<p>6 決まったことを発表する。</p> <p>7 先生の話聞く。</p> <p>8 話し合いについての振り返りをする。</p> <p>9 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級会での計画委員会の仕事について、努力を認める言葉がけをする。提案理由に沿った発言、自分のよさを生かした発言、友だちのよさを生かした発言、折り合いが付けられた発言、集団へ役立とうとした発言について賞賛する。 ○ 学級会ノートに振り返り欄を設けておき、児童が自己評価できるようにする。 <p>☆ よさを生かした集団決定の方法を理解している。</p> <p>【学級会ノート振り返り欄】</p> <p>☆ 自信をもって決まった役割を果たそうとしている。【学級会ノート振り返り欄の内容】</p>

8 事後の活動

活動過程	児童の活動（・）	教師の指導（・）と指導上の留意点（○）
実践する	<ul style="list-style-type: none"> ・ スリッパを全校児童がそろえられるように自分の役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年の活動の様子や各先生方の評価を伝えることを通して活動内容を価値付ける。
振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前、話し合い、実際の活動を通しての振り返りを帰りの会において行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を振り返り、話し合った意義が実感できるようにする。 ○ 学級会ノートに活動後の振り返り欄を設け、課題解決に向けた事前の活動から事後の活動に至る一連の活動のよさを押さえる。 ○ 友だちからのコメントによって自分のよさを再認識したり新たに発見したりできるように、また、自分が見つけた友だちのよさを相手に伝えられるように学級会ノートに友だちからのコメントを記入する欄を設ける。